



2026年4月7日

各位

上場会社名 東邦亜鉛株式会社  
代表者 代表取締役社長 伊藤 正人  
(コード番号 5707)  
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 CRO  
佐藤 義和  
(TEL 03-4334-7316)

## ミッション・ビジョン・バリュー策定のお知らせ

当社は現在、事業再生計画を完遂させるべく鋭意取り組んでおりますが、その推進にあたり私たちが社会およびお客様に対して提供する価値を改めて見直す必要があると認識いたしました。

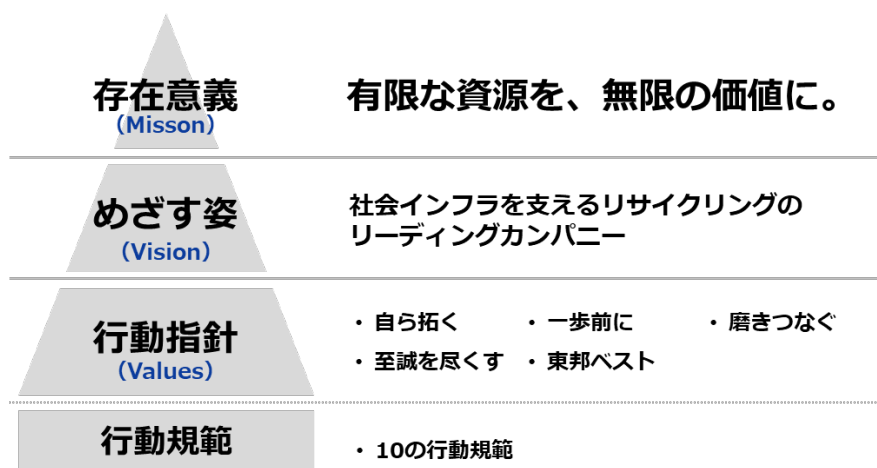
また、当社は、本日開催の取締役会において、2026年6月開催予定の第127回定時株主総会において定款の一部変更が承認されることを条件として、商号を「東邦亜鉛株式会社」から「東邦メタリクス株式会社」へ変更することを決議いたしました。

ベースメタルからレアメタル・貴金属まで、また製錬からリサイクルまで幅広く金属を取り扱う当社の事業領域を的確に表現する新たな社名の検討を進める中で、これまで培ってきた価値観や、当社に求められる役割について、改めて議論を重ねてきました。

こうした議論を通じて整理された、社員ならびに経営陣の想いと決意を踏まえ、当社グループの存在意義である「ミッション」、目指す姿である「ビジョン」、および行動指針である「バリュー」からなる経営理念体系(MVV)を、以下の通り再定義いたしました。

当社グループは、これらを全社員で共有し、一人ひとりの行動の指針とすることで、直面するさまざまな課題に挑戦し続けてまいります。また、これらの理念を、事業再生計画および今後の事業運営・意思決定の基盤として具体的施策に反映し、社会に対して新たな価値を提供するとともに、持続的な成長の実現を目指してまいります。

## 経営理念体系図



【ミッション・ビジョン・バリュー】

<p>ミッション (存在意義)</p>	<p><b>有限な資源を、無限の価値に</b> 磨き抜いた技術で、鉱石のみならず、捨てられるモノからも価値を見出し、産業に不可欠な製品を生み出す。有限な資源を無限の価値に変え、循環社会の実現に挑み続ける。それが、私たちの存在意義です。</p>
<p>ビジョン (めざす姿)</p>	<p><b>社会インフラを支えるリサイクリングのリーディングカンパニー</b></p>
<p>バリュー (行動指針)</p>	<p><b>自ら拓く</b> 他の誰かではなく、自分が決める。変化を受け入れ自ら動き、前例にとらわれない柔軟な発想で、打ち手を講じよう。荒野を拓いた創業者の精神を受け継ごう。</p> <p><b>至誠を尽くす</b> 強い責任感と覚悟で、目標実現に向けて最後までやり抜こう。常に当事者意識を持ちながら、小さな課題も放置せず、徹底的に掘り下げ、解決していこう。</p> <p><b>一步前に</b> おかしいと思ったことには声を上げ、一步前に出よう。どんな小さな気づきでも、積極的に発言し、建設的な議論につなげ、取り組みを自らリードしよう。</p> <p><b>東邦ベスト</b> 互いに助け合おう。さらに「自分のベスト」を尽くすだけでなく、先頭に立ち、仲間を巻き込み、部署や場所を超えた「東邦全社のベスト」を実現しよう。</p> <p><b>磨きつなぐ</b> 自分が担当業務の第一人者であるという自負を持ち、社内外の知見を得て専門性を磨き続けよう。その専門性を受け継ぎ、さらに高めてくれる人材を育てよう。</p>

※従来、行動指針として開示しておりました 10 項目は、内容を変更せずに行動規範という名称にて継続的に遵守してまいります。

以 上